

オピニオン

原発マネー拒否できる町に

無職 高山 和子

(京都府 73)

札東ではおを叩き、黙らせる
ようなまねはしないで欲しい。

「核ごみ拒否条例 広がる」

(8月28日1面)。原発から出る
放射性廃棄物の持ち込みを規
制するなどの条例が全国22自治
体で施行されているとのこと。
近畿で唯一、わが宮津市の名が
あるのを誇らしく思った。

昔、関西電力は宮津市の隣、
京都府京丹後市(旧久美浜町)
に原発建設を計画。漁師たちが
むしる旗を立てて反対デモをし
た。日焼けした顔で原発反対を
叫ぶ人々の中にいとこがいた。
父方の家系は戦国時代の末か

ら貧乏漁師だったらしい。末裔
の一人として私は、多くの人が
訪れる、漁が続けられる豊かな
海を維持したい。宮津市には関
電の火力発電所があり、隣の福
井県は原発銀座を抱え、核ごみ
を持ち込まれる可能性はある。

ほかの地方同様、宮津市も人
口減に悩む。だが原発がらみの
交付金が落ちてきても、海は豊
かにはならない。大阪に住んだ
28年間、誰かと友だちになると
必ず宮津へ誘った。だが「いつ
ぺん行ったら十分」と言う人も
多かった。宮津の魅力を発掘
し、観光客を増やし、原発マネ
ーをちらつかされても拒否でき
る町にしていかなばならない。